



ここをほどく共感力。 ～ソーシャルワーカーの役割をロールプレイで体験する～

〔講 師〕 社会福祉学部社会福祉学科 **佐々木 正和 教授**

2026年2月14日(土) 10:00～11:30 聖隷クリストファー大学およびオンライン



対 象 同窓生および一般の方 定 員 50 名 参加費 無料

ソーシャルワーカーとはどんな仕事かご存知でしょうか？高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉、医療、ひきこもり、不登校、メンタルヘルス、自殺対策、教育、行政等、様々な分野で相談支援を行う職種になります。また、時には、様々な分野の専門職と連携して福祉施設やサービスを創設し運営する役割を担っています。どの領域においてもソーシャルワーカーはクライアントに共感し支援をしていくことが大切になります。

今回の講座では、「ここをほどく共感力」について、相談場面のロールプレイを交えながら詳しく説明していきます。実際に、表情、目線、あいづち、うなずき、声のトーン、話し方等を試行することで、相談支援に必要な「共感力」を深めていく体験をしてみましょう。

なぜ、わかっているのに望ましい行動ができないのか？ —『行動分析学』を活用したアプローチ—

〔講 師〕 看護学部看護学科 **藤浪 千種 教授**

2026年2月14日(土) 13:30～15:00 聖隷クリストファー大学およびオンライン



対 象 同窓生および一般の方 定 員 50 名 参加費 無料

行動分析学はハーバード大学の心理学者であった B.F. Skinner (1904～1990) が創設した学問で、「行動のしくみ」を明らかにし、その知識を使って日常の行動をよりよく変えていく方法を教えてくれます。

行動分析学の知見は、子育て支援、保育、教育、組織マネジメント、地域支援、看護、リハビリテーション、高齢者介護、など幅広いヒューマンサービスの領域で活用されていますが、実は日常生活の中でも役立つものです。

「わかっているのに、つい同じ行動を繰り返してしまうのはなぜか？」

「約束が守れないのはなぜか？」

「どうすれば行動を変えることができるのか？」

ぜひ、行動分析学を活用したアプローチを仕事や生活の中で生かすためのヒントをお持ち帰りください。

リハビリテーション学部の学びが拓く未来 ～卒業生が語る実践と成長～（仮）

〔講 師〕 未定（本学卒業生が講演予定）

2026年3月14日(土) 13:30～15:00 聖隷クリストファー大学

対 象 同窓生および一般の方 定 員 100 名 参加費 無料

本学リハビリテーション学部で学び、在学中に学んだことが卒業後にどのように活かすことができているのかを講演いただきます。これからリハビリテーション専門職を目指すことを考えている方々におすすめです。

※この講演会は、聖隷クリストファー・リハビリテーション学会との共催事業です。

※聖隷クリストファー・リハビリテーション学会への入会は、ホームページをご覧ください。

ホームページ：<https://scsrs.sakura.ne.jp/>

同窓会セミナー・講演会の申込方法

同窓会 HP、FAX、郵便等で氏名、住所、電話番号、メールアドレス、勤務先、本学同窓会員かどうかを記載しお申込みください。



聖隷クリストファー大学同窓会

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町 3453

TEL：053-436-7233（同窓会事務局・大学キャリア支援センター） FAX：053-437-6782

E-mail：dousoukai@seirei.ac.jp ホームページ：<https://www.seirei.ac.jp> 「卒業生の方」➡「同窓会について」